

新しい司法書士像を求めて

ザ・フォーラム

《季刊》2006. 1 **No.65**

発行

司法書士・行政書士
丹羽正夫事務所

〒461-0017
名古屋市東区東外堀町32
番地 鈴木ビル4F
TEL 052-962-9693
FAX 052-962-9633
E-mail info@niwaoffice.com
URL http://www.niwaoffice.com/

登記・法律問題など、
お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。



謹賀新年

司法書士 丹羽正夫

一 はじめに
変化の激しい社会の中で、新しい年を平穩に迎えられることに感謝する心を忘れてはならないと思っております。

昨年の出来事としては、地震・豪雨等自然災害の頻発、セントレア開港、愛知万博開催、郵政民営化法案参議院否決、衆議院議員総選挙での自民党圧勝、大企業の好決算、株価の上昇、円安の進展、楽天によるTBS株取得、耐震強度偽装、フランスでの暴動等が記憶に残っています。

日本の社会問題に目を向けると、少子化、子供の学力低下、道徳観の低下、国の財政赤字の累積、年金・増税等の問題などがあり、地球規模では、貧困、温暖化、中国の食生活変化による食糧危機到来のおそれ、国の勢力地図変化の動き等の問題が存在します。

日本社会では、物質的豊かさ追求の歪みまたは戦後の政策を誘導した米国型合理主義に対する、文化、風土、歴史の違いによる不適合が生じ、価値観の再構築が迫られているように思われます。

二 豊かき、幸せとは何か

豊かさの尺度には個人差があり、人それぞれが納得していればよいともいえますが、「豊

かさ」とは、物と心のゆとりある充足であると思えます。「幸せ」であるためには、豊かさ、健康および人間関係に恵まれ、「足るを知る」ことが必要なのではないでしょうか。

三 精神的支柱の形成

平穩で公平な社会を実現するためには、人が一定の然るべき理念を共有する必要があります。伝統文化、道徳、武士道、宗教観等を再確認し、心豊かで誇り高い人々の集合体たる社会の実現に向かうべきです。

四 政府の役割と国民の役割

政府には、当面、教育レベルの向上と税金が安く、治安がよい独立国家をめざしてもらいたいと考えます。

すべての社会制度は、人を幸せにするために存在すべきですが、権力（政府）には長期的展望に欠けたり、一部への利益誘導に向かう側面があります。そこで、国民は、権力の施策・運営に対し、適正なチェックおよび意思表示をすることが不可欠であり、時には権力との闘いが必要なこともあります。前記のような日本の社会問題は、国民が、権力（お上）の陥りがちな側面を忘れ、政府に任せすぎたことによる痛い代償ではないでしょうか。